

## 下野市新庁舎アートワーク

このアートワークでは5つのことを大切に制作された。

1. 下野市の新たなシンボルとなる
2. 市民の憩いと対話の空間をつくり出す
3. 建築や広場と調和した環境をつくる
4. 参加型のワークショップを通じてながく親しまれる
5. 今までにないユニークなパブリックアートを創る

下野市の風土、歴史の調査や、市や設計者との協議を重ねて、下野市の宝である「ふくべ」を表現し、市民が集うための機能性をもつベンチを制作することになった。

また、参加型のワークショップをおこない、アーティストと子供たちが「ふくべ」を「観察」・「体験」・「発見」した結果を反映し、協働による作品づくりをめざした。

形は「ふくべ」がモチーフだが、小動物や植物、柔らかくなめらかな野菜、果物のようにも見え、想像して楽しんほしい。色もひとりひとりの個性があるように、多彩なので、好きな色を探して、「マイ・フクベ」として末ながく愛されることを期待している。

この「ふくべたちの庭」にはユニークな特徴が2つある。1つは、広場の活用や市民の活動に応じて「ふくべ」たちの配置を変えることができるということ。並べて野外コンサートの座席にもなるし、サークル型にしてパフォーマンスやゲームの舞台としても使え、自由な創意工夫によって、これからも活用してほしい。

2つ目は、ロビーの6個の白いベンチにはLEDが組み込まれていて、光の色が7色に変化し、アーティストと子どもたちによってスケッチされた「ふくべ」の絵が浮かび上がる仕掛けになっている。

shousai この「ふくべ」たちが市の新しいシンボルとして成長し、これからも末ながく市民に愛されることを期待したい。

### 【ワークショップ プログラム】

「みんなの観察と発見をアートに！育てよう、フクベベンチ・プロジェクト」

アーティストと子どもたちによる「ふくべ」の「観察」と「発見」を实らせるアートの制作が行われた。

(協力：下野市立祇園小学校 6年生 3クラス 82名)

●第1回ワークショップ「フクベ探検隊」

実施日時：平成27年9月8日（火）

「フクベ」を知り観察してスケッチし、発見した特徴を探検記録ノートに記録するワークショップ。参加者が発見した「かたち」や「特徴」が、作品づくりに生かされた。

●第2回ワークショップ「タッチ・ザ・フクベ・セレモニー」

実施日時：平成28年2月18日（木）

第1回ワークショップ「フクベ探検隊」の成果を、参加者・関係者皆で共有し、フクベベンチの完成をお祝いする「完成お祝い会」が行なわれた。

ワークショップ・プログラムは、アーティストと下野の子どもたちの感性を作品に反映することで、市民に身近に感じてもらうことをめざして、実施されました。作品が初めて目の前に現れた日に、関係者全員が「ふくべ」に触れて座って記念撮影をする、「タッチ・ザ・フクベ・セレモニー」を行ない、作品の完成を祝いました。